

Chapter 1

紙からデジタルへ！
iPadで勉強するメリット

- 1-1 スキマ時間を超効率的な勉強時間に 010
- 1-2 アプリを活用した最適で効率的な記憶法 015
- 1-3 「苦手問題集」を作り復習にかかる時間を短縮 020
 /// Column /// iPadを持って、街へ出よう！ 023
- 1-4 勉強に適した iPad の選び方 025
- 1-5 勉強が格段にしやすくなるスタイラスは必須 031

Chapter 2

勉強を効率的に進める！
iPadの設定と必須アプリ

- 2-1 勉強に適した iPad に設定する 036
- 2-2 集中力を高めるデバイスに iPad を変える 044
- 2-3 iPad 勉強法に必要なアプリはたったの5つ 057
- 2-4 学習のメインアプリ「GoodNotes 5」を設定する 064
 /// Column /// iPad での目標・計画管理術 070

Chapter 3

最小の努力で結果を勝ち取る
iPad 勉強法〈準備編〉

- 3-1 iPad 勉強法には6つのステップがある 072
- 3-2 電子版の参考書を購入する 077
- 3-3 勉強するページのみスクリーンショットを撮る 082
- 3-4 参考書を文字検索に対応させる 084
- 3-5 参考書をノートアプリに取り込む 087
 /// Column /// 紙の本は PDF 化する（紙の本×iPad） 094
 /// Column /// 検索機能と自分だけのエッセンス本で
 効率よく読書する 096

Chapter 4

ノートアプリを使った
最高の勉強法

- 4-1 勉強で活用するためのノートアプリの使い方 098
- 4-2 ノートアプリの機能で参考書を使い倒す 102
- 4-3 赤シートを使った暗記テクニックを再現する 110
- 4-4 ノートアプリで自分だけの苦手問題集を作る 119

Chapter 5

暗記アプリを使った 最高の勉強法

- 5-1 「暗記マーカー」で参考書を問題集に変える 126
- 5-2 検索学習に適した「暗記マーカー」問題集で
苦手問題を克服 137
- 5-3 分散学習メソッドで
記憶を確実に定着させる「Anki」 143
- 5-4 「Anki」が教えてくれる
最適なタイミングで復習する 150

Chapter 6

テストで高得点を取る iPadならではのノート活用法

- 6-1 聞き逃しをなくす iPad ノートテイキング術 156
- 6-2 自作ノートを問題集に変える iPad ノート術 166

Chapter 7

iPad をフル活用！ 効率よい勉強のためのアイデア

- 7-1 スキマ時間を無駄にしない勉強法 184
- /// Column /// 1週間の勉強スケジュール例 191
- 7-2 場所を選ばない学習のための iPhone 連携術 192

Appendix

- iPad 勉強法をサポートする！
おすすめアクセサリ 206

1-1

スキマ時間を超効率的な勉強時間に

iPad を活用した勉強法の大きなメリットにデジタルならではの勉強効率のよさがあります。ここで言う「勉強効率」という言葉は大きく二つの意味に分かれます。ひとつが自分の苦手な問題のみを集中的に学習できること。つまり、克服すべき苦手な問題だけを集中的に学習することができるということです。そしてもうひとつが**スキマ時間を活用することで、場所を選ばずにどこでも学習できる**ことです。この章では、後者の「スキマ時間の有効活用」を中心に話します。

1年間のスキマ時間は「17日と11時間」

さて早速ですが質問です。あなたにも日々生活しているなかで予定と予定のあいだのスキマ時間がたくさんありませんか？ たとえば、通勤・通学の電車に乗っている時間、レストランで注文したメニューが出てくるまでの時間など、探してみれば必ずあるはずですよ。

このスキマ時間はパナソニックの2014年の調査によると、1日平均で1時間9分もあります。**1週間だと約8時間、1ヶ月だと約34.5時間、1年では17日と11時間を無駄にしている**計算になります。この調査は新型コロナウイルス感染症の流行前に行われているため、現在とは状況が違うとはいえ、毎日スキマ時間が生まれているという事実は変わらないでしょう。日々の何気ないスキマ

時間も積み重なると膨大な時間になることを、まずは認識してください。

しかし、スキマ時間は10分、15分といった細かな時間のため、過去問を解くといった1時間程度は必要とする勉強はできませんし、場所によってはできる学習が制限されてしまいます。たとえば、ランチの待ち時間の10分では、実際の試験時間内で解く過去問の学習はできません。また、身動きが取れない朝の満員電車のなかでは、大きなiPadを出して勉強することは現実的ではありません。しかし、この時間と場所の問題は工夫次第で解決可能です。

まとまった時間が確保できないときの学習内容

まずは10分や15分といった短いスキマ時間をどのようにして密度の濃い勉強時間にするかという「時間」の問題です。私はこの時間を**苦手な問題を復習する時間**に充てます。後述しますが、私は過去問や問題集をひとつおき解き、そのなかで何度も間違えてしまう苦手な問題は、「苦手問題集」にまとめています。

「苦手問題集」はその名のとおり、自分の苦手な問題だけを集めたオリジナルの問題集です。この苦手問題集を毎朝の通勤の電車の時間と、会社の昼休みの時間に何度も繰り返し解いています。まとまった勉強時間を確保できる休日には過去問や問題集を解き、その結果あきらかになった不正解の問題の復習（苦手問題集）はスキマ時間で何度も繰り返すようにしています。

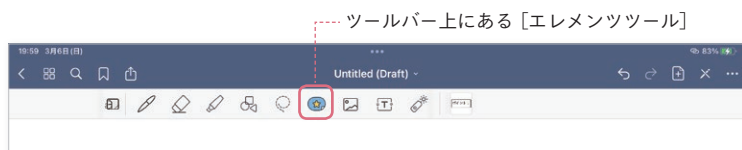
4-2

ノートアプリの機能で 参考書を使い倒す

前節では勉強でよく使用する GoodNotes 5 の基本機能について解説しました。ここからは、より具体的な学習効率向上のための機能とテクニックの組み合わせを紹介します。

スタンプを使って参考書の重要箇所をチェックする

なげなわツールの右隣にある [エレメンツツール] では、ノート管理に便利な付箋やステッカーなどを追加できます。そのなかでも勉強に役立つのは、手書きで書いた文字や図形、入力したテキストを「スタンプ」として保存し、いつでも呼び出せる機能です。この機能を応用すれば、学習している範囲で重要なポイントや、自分の考えを書き込んだ部分にのみ使うスタンプを作成できます。



また、このスタンプにテキストを含めると、GoodNotes 5 の検索機能から検索もできるため、特定のスタンプが押されているページのみを絞り込むことができます。たとえば、参考書の重要部分に「重要」と書かれたスタンプを押すと、GoodNotes 5 の検索機能で「重要」と検索すれば「重要」スタンプが押されたページが検索

にヒットし、**何度も見直したいページの復習が効率的に進みます**。私が作成した勉強用のスタンプには「重要」「自分の考え」「間違えた回数のカウント」などがあります。特に「重要」スタンプと「間違えた回数のカウント」スタンプ (P.105) は非常に便利ですので、ぜひ使ってみてください。

勉強用スタンプの作り方

まずはオリジナルスタンプの作り方から紹介します。

- 1 [テキストスタイル] ツールでスタンプにしたい文字を入力する



例では [シェイプツール] でテキストを囲んだりアイコンを使って、ひと目でスタンプとわかるデザインにしている

- 2 入力したテキストを [なげなわツール] で囲む
- 3 メニューを表示させて [要素を追加] を選択する



5-1

「暗記マーカー」で 参考書を問題集に変える

「普段の学習で使っている参考書をそのまま問題集にできればなあ」と思ったことはありませんか？ ここで言う参考書とは、学校の教科書のように文章解説が中心で、重要語のみ太字や赤字で記されている書籍を指します。この参考書には重要語とその解説が網羅されており、学習内容の全体像の把握だけでなく基礎固めにも最高の教材となります。

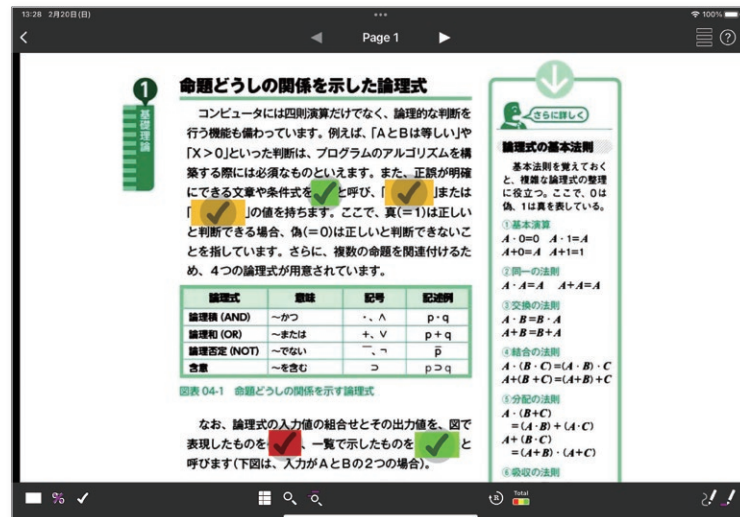
しかし、文章を読みながら知識を身につける参考書では、**最も効果的な学習法であるクイズ形式**が使えません。私はこの問題を解決しようと、高校生のときに教科書に太字で書かれている重要語彙を暗記ペンという（アナログの）勉強道具を使って、丸ごと問題集にしようと試みたことがあります。当時使っていた暗記ペンは文字の上から青色でマーカーを塗り、塗った部分を赤シートで隠せば見えなくなるというものでした。

正答率まで判明するデジタル問題集

実際に使ってみると、その暗記ペンは教科書の文字が完全に隠れないばかりか、インクが裏写りしてしまうため、とても使えるものではありませんでした。ところがiPadには参考書上でマーカーを塗って隠すことで“問題集化”し、さらにマーカーごとの正答率まで表示できるアプリがあります。それが本節と次節で紹介する「暗

記マーカー」というアプリです。文章で紹介するよりも実際の暗記マーカーの画面をご覧いただいたほうが、その機能のすばらしさが伝わるでしょう。

暗記マーカーでは下図のようにアプリに取り込んだ参考書上に、自由にマーカーを引いて文字を隠せます。そしてマーカーの部分タッチすると、隠れていた文字が表示されるため、あたかも赤シートでの学習のように「**隠す⇒解答する⇒答えを見る**」といった勉強が可能になるのです。



6-1

聞き逃しをなくす iPad ノートテイキング術

学校の授業中に先生が言った重要なことを聞き逃したという経験はありませんか？ 私が大学生のときはよくありました。そして聞き逃した内容に限って出題され、テストで間違えてしまった苦い記憶があります。

しかし、本章で紹介するノート術を使えば「大事な話を聞き逃す」ということがなくなります。私はこのノート術を講義やセミナーで利用しており、活用するようになってから**受講後の知識の定着率が上がった**と実感しています。打ち合わせ時などの話をメモに取る際にも活用できますので、ぜひ普段の仕事のシーンでも試してみてください。

アプリの優れた機能も使い次第

聞き逃しをなくす iPad ノート術で使用するアプリは「Notability」です。Notability は**録音しながらメモを書くことができるノートアプリ**で、打ち合わせの場では毎回使っています。Notability の非常に便利な機能に、録音した音声とその内容に対応する手書きのメモがわかるというものがあります。

録音した音声の再生モードでは書いたメモが薄い色に変更され、音声を再生すると音声のタイミングとメモが書かれたタイミングが

連動して、色が本来の濃い色に戻っていきます。音声と手書きしたメモが同期されるのです。



しかし、便利な一方でメモそのものがなければ、録音してから何分のタイミングでどのようなトピックが話されたのかわかりません。メモを取ることが前提の機能であるため、一生懸命に記録するほどメモを取ることに意識が向いてしまい、かえって話を聞き逃してしまいます。そうかと言って、メモを取らなければ話しの内容を忘れてしまいます。

講義に集中できるノートの取り方

この悩みを解決するために作成し使用しているのが「授業・打ち合わせ用ノート」テンプレートです。このテンプレートは、あとからメモを見なおすことを前提とし、授業中は録音時間と、その時間で話されているトピックという**最小限のメモだけで済む**ようになっています。このノート術を活用するようになってから話を聞いて理解することに集中できるようになり、結果として知識の定着率が上がりました。

■ コーネル式クイズノートのテンプレート

1/31(月) 織田信長の戦いと本能寺の変まで

1 Q1 織田信長と今川義元の合戦を何と言うか。

Q1 1560年 桶狭間の戦い
織田信長と今川義元の合戦。
10倍も兵力に差があるとされていた織田信長が勝利した

Q2 長篠の戦いで武田軍は誰と誰の連合軍に敗れたか

Q2 1575年 長篠の戦い
織田信長、徳川家康の連合軍が武田軍を相手に勝利した戦い。
織田、徳川連合軍は鉄砲隊を有効に使い、武田の騎馬軍団を撃破した。
ポイント
織田軍が大量の鉄砲で三段撃ちを行い、
武田軍の騎馬隊を食い止めたことが勝因とされている。

2 Q3 織田信長によって行われた経済政策令を何と言うか。

Q3 1576年 安土城を築く
滋賀県の近江に安土城築城。 Q3
城下町の繁栄を目的に楽市・楽座令を実施。
楽市は城下町を課税免除を免除して自由な交易を促すために、
楽座は営業権や販売権などの独占を防ぐための政策とされている

3 Q4 織田信長が家臣の明智光秀に襲撃された事件を何と言うか。

Q4 1582年 本能寺の変
京都の本能寺に滞在していた織田信長を家臣の明智光秀が襲撃した事件。 Q5
本能寺の変後、山崎の戦いで羽柴秀吉が明智光秀に勝利した。
考え

Q5 本能寺の変の後、羽柴秀吉が明智光秀を討った戦いを何と言うか。

なぜ家臣である明智光秀が織田信長を討ったのか。
本能寺の変に至る背景を調べる。

4 桶狭間の戦いから本能寺の変までわずか20年の間に織田信長は天下統一まで、あと一歩のところまで迫った。戦力差が10倍と言われる桶狭間の戦いから、当時最強と言われていた武田の騎馬軍を破るなど、戦略・戦術に長けた人物だった。戦い後も楽市・楽座令で城下町の交易を促すといった経済政策も行った。本能寺の変により没後、家臣の羽柴秀吉によって天下統一が成し遂げられた。

これがコーネル式クイズノートのテンプレートです。ノートに記入する場所は4か所あり、テンプレートは **GoodNotes 5 に読み込んで使用** します。ノートの取り方と書き込みポイントを、実際にノートを取る順序に沿って紹介します。

1. 日付とタイトルを記入する

1には日付とメモのタイトルを記入します。このノートはあとから見直すことが前提なので、GoodNotes 5 の検索機能でヒットするように、わかりやすいタイトルを付けることをおすすめします。

2. メモを記入する

勉強している内容で重要だと思うことは、**2**にどんどん書き込みます。また、ノートを取る最中に思いついたことや、自分の考えも遠慮なくノートに書き込みます。考えを書き込むことで、その考えが引き金になって、知識を思い出しやすくなります。

また、あとから見なおしたときにも自分の考えやアイデアを追記できるように、大きくスペースを取って書き込むことがポイントです。紙のノートとは違って、GoodNotes 5 は iPad の容量が許すかぎり無限にページを増やせるので、どんどん書き込んでいきましょう。

Point GoodNotes 5 の [エレメントツール] を活用する

P.102 で紹介した方法で「考え🤔」や「💡ポイント」などのオリジナルスタンプを作成しています。検索機能で特定のスタンプだけを抽出し、効率的に復習できます。